

Foresight in sight

# ASEAN統合を睨んだ新たなる挑戦

ICTへの取り組み半世紀。さらにボーダーレスに事業を拡大！

2015年6月4日

日本ユニシス株式会社

角田 道彦

1. 自己紹介
2. ASEAN再確認 in order to be “Foresight in sight”
3. Factory ASEANとMarket ASEAN
4. ASEANにおけるICTの現状
5. NUL Group & Unisys Corp.
6. 各地域・各国そしてCross Borderへの挑戦

日本ユニシス株式会社	上席執行役員 グローバルインキュベーション部長
ユニアデックス株式会社	執行役員 グローバルビジネス部長

## 【略歴】

- ◆ 三井物産で36年間、主にプラントプロジェクト部隊で過ごす。
- ◆ China Project since 1981, Korea Project since 1985
- ◆ 駐在地：Vancouver, Taipei, Kuala Lumpur, Malaysia, Singapore
- ◆ マレーシア日本人商工会議所(JACTIM)第4代会頭
- ◆ 三井物産アジア・大洋州本部(Singapore)時代、China、ASEAN、India、Oceaniaをカバー。
- ◆ 2014年4月日本ユニシス着任、2015年4月から現職。

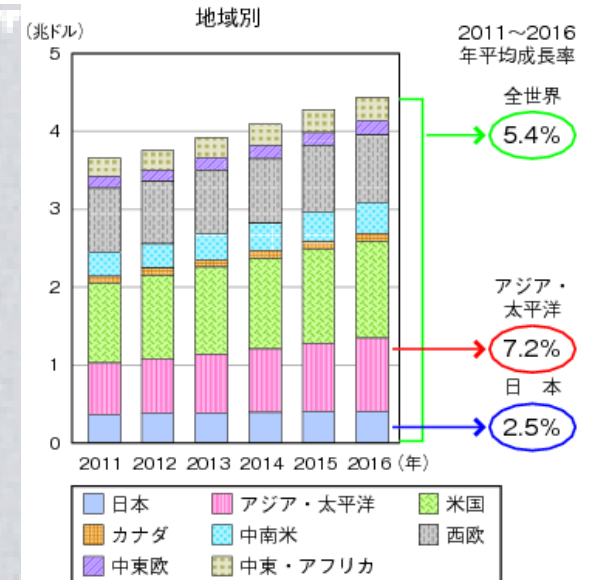
## [AEC Blue Print]

単一市場と生産基地  
競争力ある経済地域  
公平な経済発展  
グローバル経済への統合

尼馬比泰越 2016年  
経済成長率見込み 5.3%

社会インフラ投資  
年8,000億ドル  
(約96兆円)

世界のICT市場成長性→

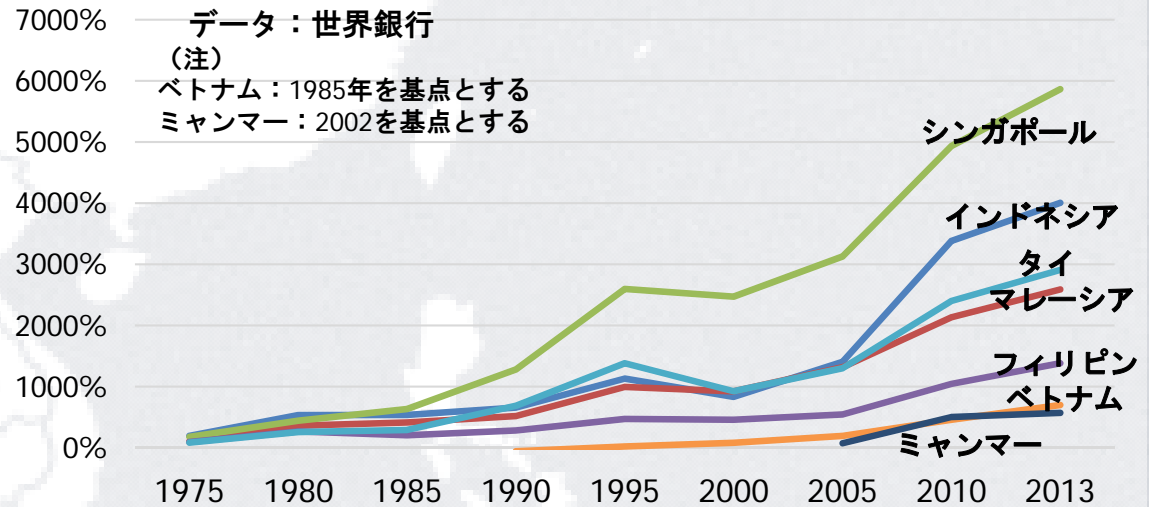


## ASEAN各国に対する個人的見解

加盟国	特徴、産業構造
シンガポール	世界の先進国。シンガポール株式会社。官民協力して更に高効率で成長にまい進。
マレーシア	ガス産出国からLNG輸入国に。イスラム世界のラストリゾート。シンガポールに次ぐ先進国。
タイ	自動車製造に代表される工業国。LCMとの経済圏拡大。東西南北回廊による物流拠点。
インドネシア	GDP/人が3,000ドルを超え、経済成長が継続。人口2.5億人。鉱山法等により資源Value Upにシフト。
フィリピン	英語圏Out Sourcing事業やOFW送金でGDP/人が3,000ドル超え。人口1億人。Consumer Driven Economy。
ベトナム	Software Offshore開発に加え、製造業や観光業が近年急速に成長。社会主義国家の殻を破れるか？
ミャンマー	2011年に民政移管を果たし、急速に経済の近代化が進む。Last Resort in Asia。
ラオス	2012年にWTO加盟。アジアの電池になりたい。
カンボジア	国民の過半数が「貧困レベル」(ADB)で、第一次産業が中心。中韓との経済的な結びつきが強い。
ブルネイ	資源国家で先進国。資源Reserveを如何に効率的に使い国家成長を担保出来るか？

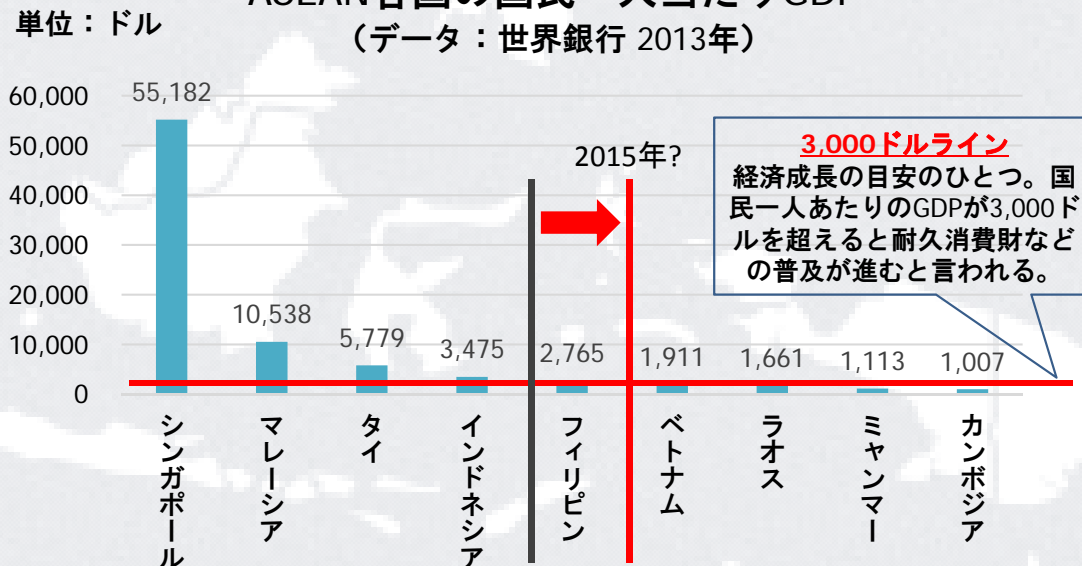
国民一人当たりGDPは  
2005年以降急成長

ASEAN主要国の国民一人当たりGDPの成長率  
(1970を基点とした5年ごとの成長率)



国民一人当たりGDP  
3,000ドルライン

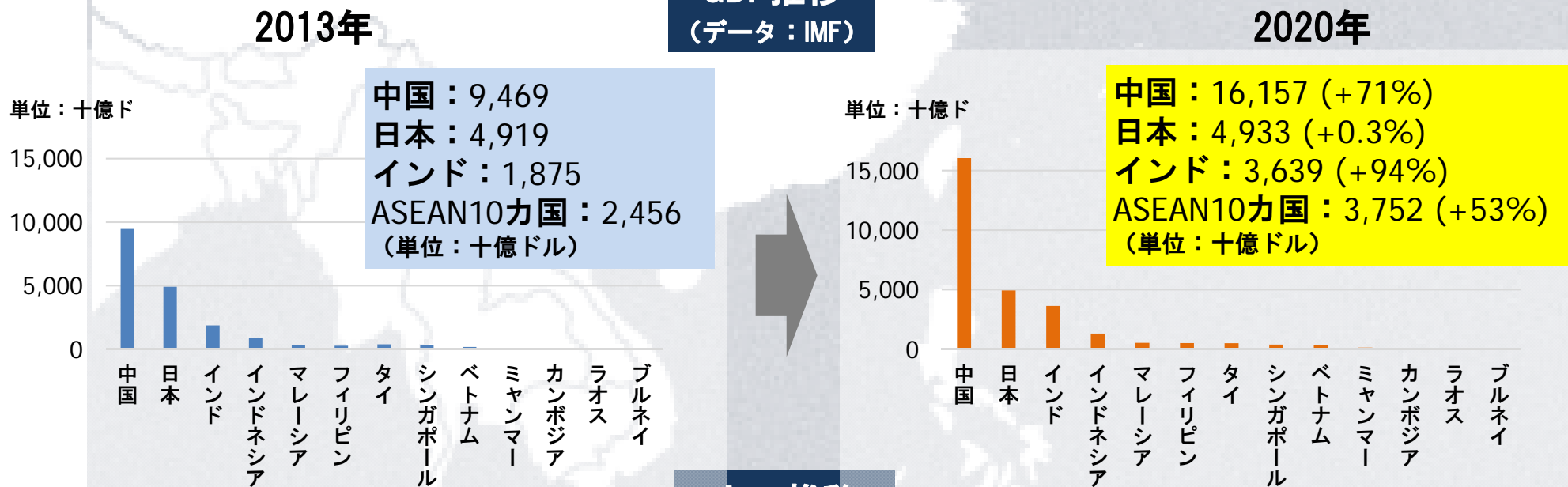
ASEAN各国の国民一人当たりGDP  
(データ：世界銀行 2013年)



## 2-4. ASEAN再確認 「ASEAN」と「中国、インド、日本」

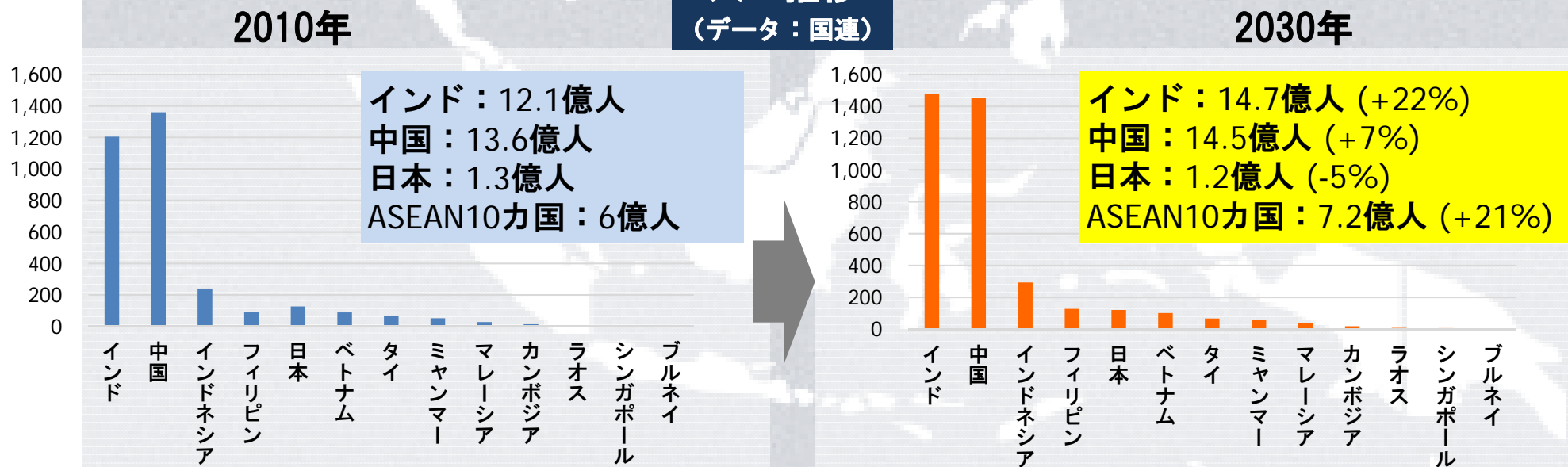
### GDP推移

(データ：IMF)



### 人口推移

(データ：国連)



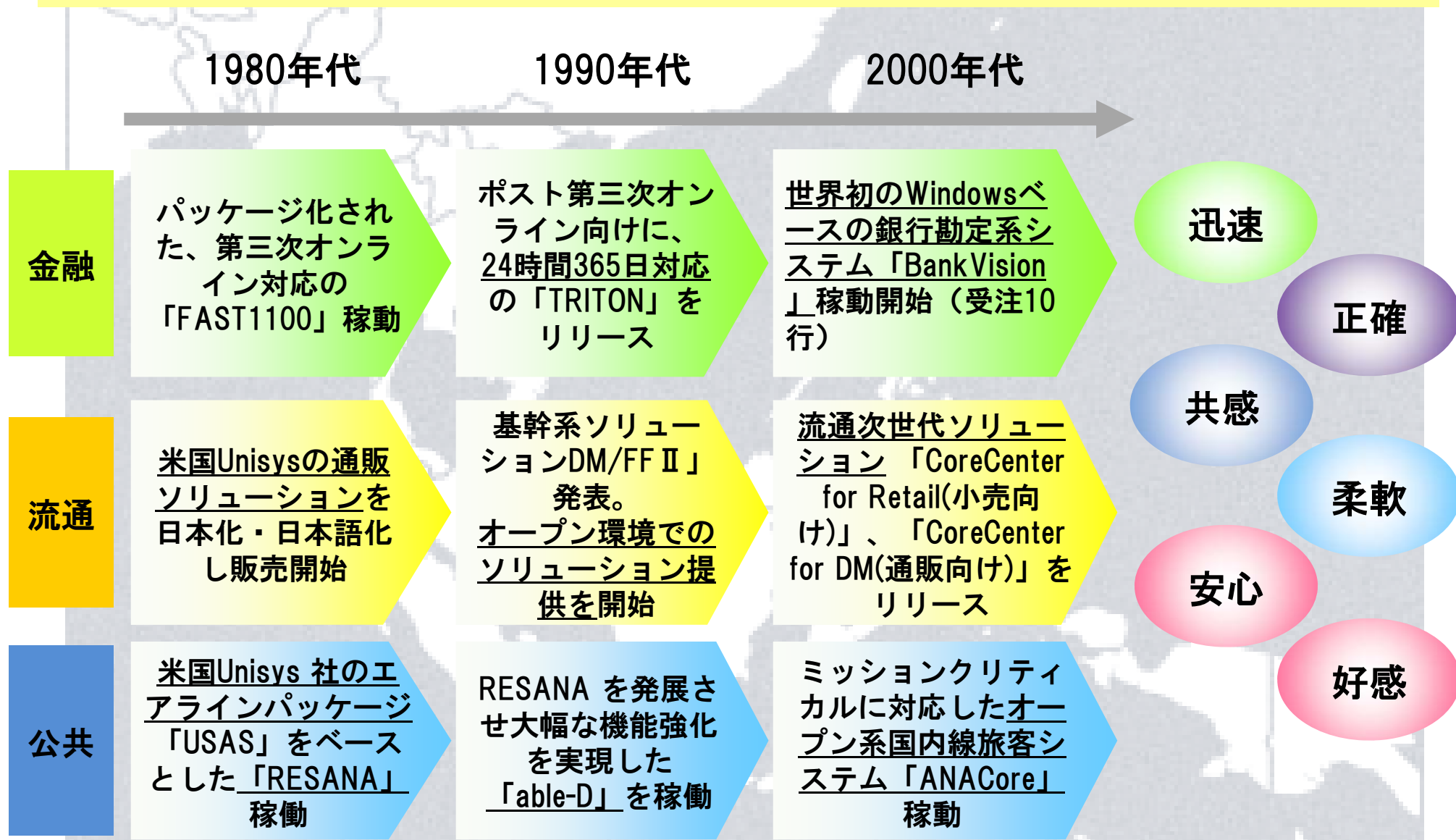
- ASEANの陸上交通の要となる「経済回廊」の整備が進む
- 各国の“ラストワンマイル”の配送網整備が課題
  - メコンデルタを東西に走る幹線道路(“経済回廊”)の整備が日本などの援助により進む
  - 交通渋滞や島国などの各国事情により、ローカルの配送網の整備が大きな課題
- 日本の新幹線構想



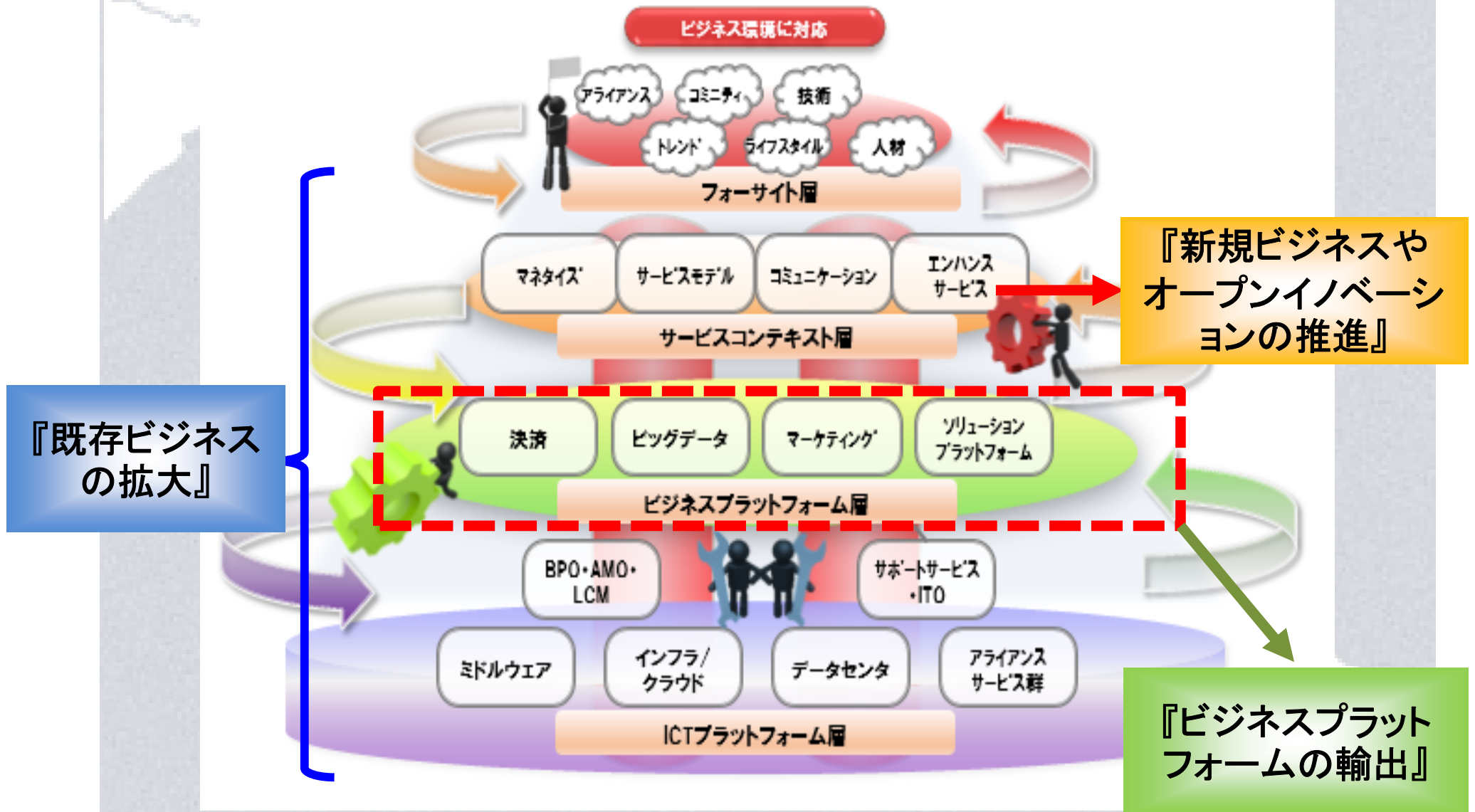
資料：経済産業省作成。

# 5. 日本ユニシスグループと米Unisys

金融、流通、公共など幅広い分野でミッションクリティカルなシステムを開発・運用し、高い技術力とノウハウを蓄積



ICTシステム 4層モデル



### 『既存ビジネスの 拡大』

- 日本企業の海外進出やMarket ASIAへのICT対応支援。
- 米Unisysと共にGlobal ITOを活用した保守・運用サービスをCross Borderで提供。

### 『ビジネスプラット フォームの輸出』

- ASEAN各地域・各国の事情に合わせ、日本ユニシスグループが長年培ってきたミッションクリティカルシステムやソリューション技術を適用。
- ビジネスプラットフォームを現地パートナーと共に活用し、ICTビジネスインフラを構築。

### 『新規ビジネスや オープンイノベーションの 推進』

- インドネシアでDrive Recorderのトライアルを実施中。
- アジアのスタートアップ企業との連携も視野に、Asian SMACS (Social, Mobile, Analytics, Cloud, Security)に挑戦。

ASEANに展開するグループ会社をフルに活用し、  
ITOはじめICTプラットフォームの領域で、サービスを展開



### ユニアデックス株式会社

事業概要：グローバル規模のICTインフラ構築・運用  
日系企業のお客様の海外Rollout支援  
国際間グローバルNW 及び 地域NW  
の構築・運用・保守

海外拠点：米Unisys社と連携（30ヶ国実績）  
中国・東南アジア7ヶ国に現地関係会社  
（インドネシア、タイ、シンガポール、フィリピン、マレー  
シア、中国、ベトナム）



### 日本ユニシスエクセリョーションズ株式会社

事業概要：自社製CADの海外展開とサポート  
CADmeister 12ヶ国 14代理店  
Dynavista 11ヶ国 13代理店

海外拠点：中国、韓国、タイ、ベトナム



### NUL System Services Corporation

事業概要：R&D、日本ユニシス製品商品の販売

海外拠点：米国（シリコンバレー/ミネアポリス  
/シンガポール）

設立：1994年6月



### USOL Vietnam Co.,Ltd

事業概要：日本ユニシスグループのオフショ  
ア開発センター

海外拠点：ベトナム（ハノイ）

設立：2006年6月

米UnisysのグローバルITOネットワーク

15拠点、20言語、24時間対応の単一グローバル・インフラストラクチャー

年間1460万件のサービスデスク・コール／360万台の機器サポート／420万件の年間フィールドディスパッチ

アジア太平洋地域のサポート体制

1,550人：ユーザーサポート要員  
170人：コンサルタント  
5ヶ所：データセンター  
6ヶ所：サービスデスク

5ヶ所：ネットワークオペレーションセンター  
2カ所：セキュリティオペレーションセンター

Asia South and East

Singapore  
Malaysia  
Philippines  
Indonesia (Service partner)  
Thailand (Distributor)  
Vietnam (Service partner)  
India

Greater China

China  
Taiwan  
Hong Kong

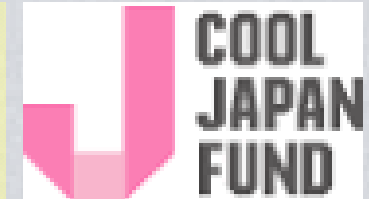


アジアのサポート拠点

## 日本政府のアジア進出支援

### (株)需要開拓支援機構 (クールジャパン機構)

- 経産省の支援のもと官民出資により設立(2013年)
- 出資金:406億円(2014年時点)



### (株)海外交通・都市開発事業支援機構(JOIN)

- 国土交通省の支援のもと官民出資により設立(2014年)
- 2014年度財投計画:政府出資585億円、政府保証510億円



### (株)海外通信・放送・郵便事業支援機構

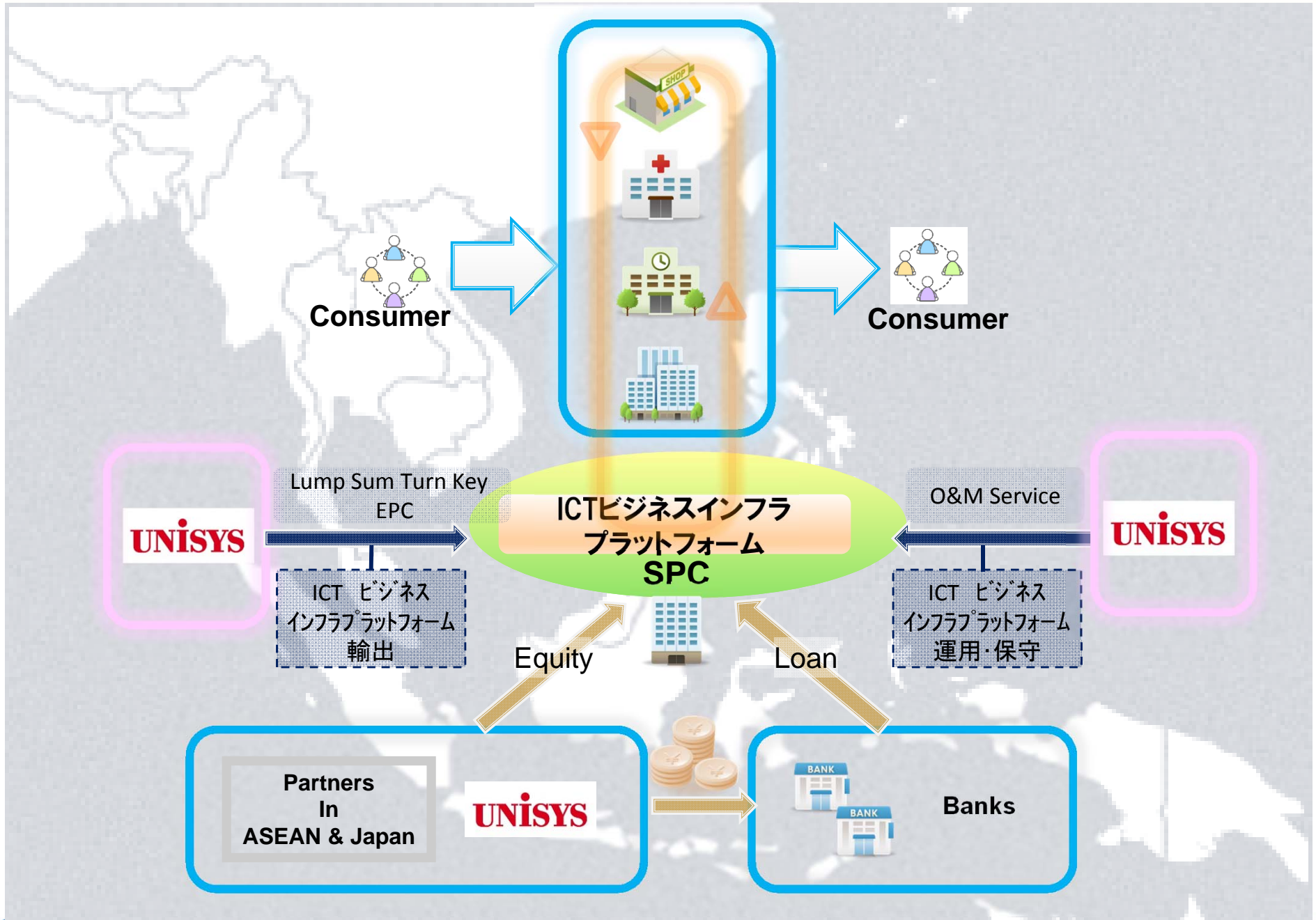
- 総務省の支援のもと官民出資により設立
- 産業投資:200億円、政府保証:70億円

5月29日参院で法案可決。  
2015年秋設立予定。

### 1,100億ドル支援 to ADB・JICA・JBIC/JOIN 2016~2020年

- ADB増資500億ドル
- JICAや円借款等で300億ドル
- JBICやJOINで200億ドル 他

5月21日安倍首相発言  
@日経新聞「アジアの未来」



SMACS (Social, Mobile, Analytics, Cloud, Security)

→ そのままでは通用しないアジア

San Jose → San Francisco <-> Singapore & ASEAN

Blk 71/73/79 supported by NUS

**PLUG IN @ BLK 71**  
IN PARTNERSHIP WITH SINGTEL INNOV8 & MDA

Plug in to get started



# Foresight in sight

ICTシステム 4層モデル

